

身近でなくなりつつある魚 ～ミナミメダカ～

ミナミメダカと聞くと何だろう？と思う人もいるかもしれませんが、実は碧南市にいる野生のメダカの名前です。クロメダカという名前の方がおなじみかもしれませんね。

日本にいる野生のメダカはミナミメダカとキタノメダカの2種類に分類されます。水族館では小学5年生の教材用として、毎年市内の各小学校にメダカを配布しています。このメダカは1994年（今から20年前）に、市内で採取したものを繁殖させたものです。一般的に野生のメダカの寿命は1年と数か月ほどと言われていますが、水族館で飼育しているメダカは2～3年、長いもので5年ほど生きているものもいます。

ところで、昔は童謡「めだかの学校」でも歌われているように市内でもあちらこちらで見かけることができました。しかし現在では環境の変化により、野生のメダカを見かける機会は減っています。

水族館では毎年サマースクールで子ども達と一緒に市内の用水路で生き物調査を行っています。メダカだと思って採取した魚のほとんどが外来魚であるカダヤシです。野生のメダカの体色は黒っぽいのですが、近年ペットショップなどでは、人の手によって品種改良されたさまざまな体色をしたメダカが売られています。子ども達にとっては、お店で売っているメダカの方が身近になりつつあるかもしれません。子ども達にメダカの絵を描かせると、もしかしたらオレンジ色や白色、青色をしたメダカを描くかもしれませんね。

水族館ではミナミメダカを展示しています。この展示を見て、お子さんがメダカの色がおかしいねと言ったら、この黒っぽい体色こそ、昔からいる本物のメダカの色だと教えてあげてください。



△ミナミメダカ

元気っ子じゅうごう

掲載希望は
広報統計係まで

はやと
隼くん
(7歳)



パパ・ママより

梶川征希さん・円さん
(弥生町)

ケンカもするけど仲良し兄弟。たくさん遊んで、食べて、寝て、元気な子に育ってね。あなたたちの成長する姿が楽しみです。

えいと
永翔くん
(1歳7か月)

りこ
莉子ちゃん
(3歳)



パパ・ママより

岩間圭吾さん・智英子さん
(中町)

動物が大好きで、たくさん食べて元気いっぱいな莉子と成央。ありがとうとごめんねと言える素直な優しい子になってね。2人はお父さんとお母さんの宝物です。

な お
成央くん
(1歳8か月)

み おん
末穂ちゃん
(8歳)



パパ・ママより

鈴木宏幸さん・久美子さん
(鷺林町)

たくさんケンカもするけど姉妹仲良く楽しく、たくさん笑って過ごそうね。

な お
七緒ちゃん
(1歳11か月)